

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和6年7月29日(2024.7.29)

【公開番号】特開2024-29182(P2024-29182A)

【公開日】令和6年3月5日(2024.3.5)

【年通号数】公開公報(特許)2024-041

【出願番号】特願2024-335(P2024-335)

【国際特許分類】

C 07 K 7/08(2006.01)	10
A 61 K 38/16(2006.01)	
A 61 P 35/02(2006.01)	
A 61 P 37/02(2006.01)	
A 61 P 19/02(2006.01)	
A 61 P 29/00(2006.01)	
A 61 P 1/04(2006.01)	
A 61 P 3/10(2006.01)	
A 61 P 17/06(2006.01)	
A 61 P 27/02(2006.01)	
A 61 P 37/06(2006.01)	20
A 61 P 11/00(2006.01)	
A 61 P 17/00(2006.01)	
A 61 P 21/00(2006.01)	
A 61 P 11/06(2006.01)	
A 61 P 11/02(2006.01)	
A 61 P 37/08(2006.01)	
A 61 P 27/16(2006.01)	
A 61 P 43/00(2006.01)	
A 61 P 17/10(2006.01)	
A 61 P 17/14(2006.01)	30
A 61 P 17/16(2006.01)	
A 61 K 8/64(2006.01)	
A 61 Q 3/00(2006.01)	
C 12 N 15/11(2006.01)	
A 61 K 38/08(2019.01)	

【F I】

C 07 K 7/08	Z N A	
A 61 K 38/16		
A 61 P 35/02		
A 61 P 37/02		40
A 61 P 19/02		
A 61 P 29/00	1 0 1	
A 61 P 1/04		
A 61 P 3/10		
A 61 P 17/06		
A 61 P 27/02		
A 61 P 37/06		
A 61 P 11/00		
A 61 P 17/00		
A 61 P 21/00		50

A 6 1 P 11/06
 A 6 1 P 11/02
 A 6 1 P 37/08
 A 6 1 P 27/16
 A 6 1 P 43/00 105
 A 6 1 P 17/10
 A 6 1 P 17/14
 A 6 1 P 17/16
 A 6 1 K 8/64
 A 6 1 Q 3/00
 C 1 2 N 15/11 Z
 A 6 1 K 38/08

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月12日(2024.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも2つのインターロイキン(IL)タンパク質cポックスDヘリックス領域の部分アミノ酸を含むカスタムペプチド誘導体を含むcサイトカイン活性の阻害剤であって、

前記部分アミノ酸配列が、それぞれ少なくとも2つのILタンパク質cポックスDヘリックス領域の1～10アミノ酸からなり、

前記ILタンパク質cポックスDヘリックス領域が、配列番号3、配列番号4、配列番号5、配列番号6、配列番号7および配列番号8のいずれか1つで示されるアミノ酸配列である、阻害剤。

【請求項2】

前記部分アミノ酸配列が、それぞれ少なくとも2つのILタンパク質cポックスDヘリックス領域の1～6アミノ酸からなる、請求項1に記載の阻害剤

【請求項3】

前記カスタムペプチド誘導体が、IL-2、IL-4、IL-7、IL-9、IL-15およびIL-21からなる群から選択される2種以上のサイトカインの活性を阻害する、請求項1または2に記載の阻害剤。

【請求項4】

前記カスタムペプチド誘導体が、配列番号1で示されるアミノ酸配列を含む、請求項1～3のいずれか1項に記載の阻害剤。

【請求項5】

前記カスタムペプチド誘導体が、配列番号1で示されるアミノ酸配列からなる、請求項1～4のいずれか1項に記載の阻害剤。

【請求項6】

前記カスタムペプチド誘導体が、1種以上の非天然アミノ酸を含む、請求項1～5のいずれか1項に記載の阻害剤。

【請求項7】

前記カスタムペプチド誘導体が、1種以上のリンカーエレメントを含む、請求項1～6のいずれか1項に記載の阻害剤。

【請求項8】

20

30

40

50

治療有効量の請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の阻害剤と、薬学的に許容される担体、希釈剤、賦活剤またはこれらの組み合わせとを含む医薬組成物であって、

前記阻害剤が、少なくとも 2 つのインターロイキン (IL) タンパク質 c ボックス D ヘリックス領域の部分アミノ酸配列を含み、

前記部分アミノ酸配列が、それぞれ少なくとも 2 つの IL タンパク質 c ボックス D ヘリックス領域の 1 ~ 10 アミノ酸からなり、

前記 IL タンパク質 c ボックス D ヘリックス領域が、配列番号 3 、配列番号 4 、配列番号 5 、配列番号 6 、配列番号 7 および配列番号 8 のいずれか 1 つで示されるアミノ酸配列である、医薬組成物。

【請求項 9】

前記部分アミノ酸配列が、それぞれ少なくとも 2 つの IL タンパク質 c ボックス D ヘリックス領域の 1 ~ 6 アミノ酸からなる、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記カスタムペプチド誘導体が、IL-2 、 IL-4 、 IL-7 、 IL-9 、 IL-15 および IL-21 からなる群から選択される 2 種以上のサイトカインの活性を阻害する、請求項 8 または 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記カスタムペプチド誘導体が、配列番号 1 で示されるアミノ酸配列を含む、請求項 8 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記カスタムペプチド誘導体が、配列番号 1 で示されるアミノ酸配列からなる、請求項 8 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記カスタムペプチド誘導体が、1 種以上の非天然アミノ酸を含む、請求項 8 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記カスタムペプチド誘導体が、1 種以上のリンカーエレメントを含む、請求項 8 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

c サイトカイン媒介性疾患を改善または治療するための医薬の製造における医薬組成物の使用であって、

それを必要とする対象に請求項 8 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物を投与する工程を含み、

前記 c サイトカイン媒介性疾患が、重症筋無力症、炎症性腸疾患、CD4 白血病、CD8 白血病、LGL 白血病、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、ウェーベナ-肉芽腫症、セリアック病、橋本甲状腺炎、関節リウマチ、糖尿病、乾癬、多発性硬化症、ブドウ膜炎、眼炎症、および移植片対宿主病 (GVHD) からなる群より選択される、使用。

【請求項 16】

HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) / 热帯性痙性不全対麻痺 (TSP) に関連する疾患を改善または治療するための医薬の製造における医薬組成物の使用であって、

それを必要とする対象に請求項 8 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物を投与する工程を含み、

前記 HAM / TSP に関連する疾患が、成人 T 細胞性白血病 (ATL) 、 HTLV 関連脊髄症 / 热帯性痙性不全対麻痺 (HAM / TSP) 、ならびに HTLV に関連する他の非新生物性炎症性疾患 (ブドウ膜炎 (HU) 、関節症、肺疾患、皮膚炎、外分泌腺症および筋炎) からなる群より選択される、使用。

【請求項 17】

炎症性呼吸器疾患を改善または治療剤するための医薬の製造における医薬組成物の使用であって、

10

20

30

40

50

それを必要とする対象に請求項 8 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物を投与する工程を含み、

前記炎症性呼吸器疾患が、喘息、副鼻腔炎、花粉症、気管支炎、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、アレルギー性鼻炎、急性耳炎、慢性耳炎、および肺線維症からなる群より選択される、使用。

【請求項 18】

美容状態を改善または治療するための医薬の製造における医薬組成物の使用であって、それを必要とする対象に請求項 8 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物を投与する工程を含み、

前記美容状態が、ざ瘡、脱毛、日焼け、爪のケア、および外見の老化からなる群から選択される、使用。 10

【請求項 19】

難治性セリック病、NK 白血病 / リンパ腫および NK - T 白血病 / リンパ腫における上皮内リンパ腫ならびに白血病を改善または治療するための医薬の製造における医薬組成物の使用であって、

それを必要とする対象に請求項 8 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物を投与する工程を含む、使用。

10

20

30

40

50